

《今朝の聖書から》『ルカによる福音書』3：15  
～22は、閉塞状況の中で“民衆は救主を待ち望んでいたの  
で、みな心の中でヨハネのことを、・・・”と書かれているこの状  
況を思い出しましょう。“聖書において記されているメシヤの  
こと”を知っていたということ、しかし現実の社会は、キリス  
トが現れると思うには、あまりに、すすんでいたことが判りま  
す。救い主がやってこないのなら、メシヤ預言も、幻に過ぎま  
せんし、実行困難なほどの祭儀律法が重くのしかかるだけなの  
です。ヨハネは、律法支配という罪に満ちたイスラエルの人々  
の中で“悔い改めのバプテスマ”を人々に授けていました（3  
節）。“ヨハネ運動”とも呼ばれることがあります。この中身  
は預言が現実のものになるので“主の道を備えよ、その道筋を  
まっすぐにせよ”というものでした。主の現れることを、彼は  
告げ知らせていました。そしてその主張が“悪から離れ、正義  
を行ないなさい”というもので、“悔い改めのバプテスマ”で  
した。3:19に“また自分がしたあらゆる悪事について、ヨ  
ハネから非難されていたので・・・”とあることから分かり  
ますが、ヨハネの勧めと教えは、権力への批判にも及ぶもので  
あったことが判ります。教会はどうでしょうか。“父と子と聖  
霊の御名によって”と言いますが、そして、受洗者の意思より  
も“バプテスマを授ける”という理解を重視します。しかし、  
“信じて義とされ告白して救われる”（ヨハネ12：42、ロ  
ーマ10：10）という、洗礼を受ける人、もしくはその親な  
どの願いも大切なのです。ヨハネは“その準備をしましょう”  
と言っているのです。それは丁度、私たちの誰もが、その人に  
ふさわしい準備を洗礼を受ける前に行なっているのに似てい  
ます。“わたしは水でおまへたちにバプテスマを授けるが、わ  
たしよりも力のあるかたが、おいでになる。・・・このかた  
は、聖霊と火とによっておまへたちにバプテスマをお授けにな  
るであろう”ということを知って、また体験しているのがクリ  
スチャンなのです。求道したこと、信じたこと、“打ち場の麦  
をふるい分け、麦は倉に納め・・・”（3：17）にあるよう  
に救いに入れられていることを忘れないようにしましょう。

# 週報

2007年 1月 7日



主の業に励もう コリント15:58

日本フリーメソジスト

## 清水草薙キリスト教会

教会学校	毎日曜日	午前 9:00
礼拝式	毎日曜日	午前 10:30
	(聖餐式 第一日曜日)	
夕礼拝式	毎日曜日	午後 7:00
エステル商会	毎水曜日	午前 10:30
聖書研究祈祷会	毎水曜日	午後 7:00
ホームページ	<a href="http://kusanagi.church.jp/">http://kusanagi.church.jp/</a>	

〒424-0885

静岡県清水区草薙杉道3丁目2-26

☎0543-45-4070 E-Mail [grace@big.jp](mailto:grace@big.jp)

牧師 村上定幸